

第3次愛媛県歯科口腔保健 推進計画 (令和6年度～令和10年度)

— 概要版 —



基本理念

歯と口腔の働きが全身の健康の保持増進に重要であるとの認識の下、県民が自ら歯と口腔の健康づくりに取り組むことを推進するとともに、様々な分野が連携協力し、生涯を通じた歯と口腔の健康づくりを推進します。

私たち県民一人ひとりの役割

歯と口腔の健康は、全身の健康を守るために大変重要です。

生涯を通して楽しい食生活や健康な日常生活を送れるよう、自ら歯と口腔の健康づくりに関する正しい知識を習得し、理解を深め、むし歯や歯周病の予防に向けた取組や定期的な歯科検診の受診により、一人ひとりが積極的に歯と口腔の健康づくりに努めましょう。

食後や寝る前の歯みがきを
習慣付けよう



デンタルフロスや
歯間ブラシを使おう



栄養バランスのとれた
食事をしよう



ひとくち30回を目標に
よく噛んで食べよう



むし歯予防に効果のある
フッ化物を利用しよう



かかりつけ歯科医を持ち
定期的に歯科検診を受けよう



非常時持出袋に歯ブラシ
などを入れておこう



毎年6月4日から6月10日は **歯と口の健康週間** です。

毎年11月は **歯と口腔の健康づくり月間** です。(愛媛県オリジナル)



歯と口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小

重点目標

- 歯と口腔の健康づくりに関する意識の向上 … 正しい知識を得る
- 自分の歯を大切にする生活習慣の実践 … 県民自身が実践、行動する
- 歯と口腔の健康づくりを取り巻く環境整備 … 環境を整える

基本方針

1 ライフステージ等に応じた切れ目のない歯と口腔の健康づくりの推進 (取組・指標一部抜粋)



共通

- 歯と口腔の健康づくりの重要性に関する普及啓発
 - かかりつけ歯科医への定期的な歯科検診の受診促進
-
- 過去1年間に歯科検診を受診した人の割合 (20歳以上)
現状: 54.2% → 目標: 65%以上



少年期

- 基本的な歯と口腔の健康づくりに関する学習の機会の確保
 - フッ化物洗口を集団的かつ継続的に実施する体制の支援
-
- フッ化物洗口を実施している児童・生徒の割合
現状: 小学生 34.2% → 目標: 50%以上
中学生 9.1% 20%以上



中年期・高齢期

- 口腔清掃、義歯の手入れなどの普及啓発
 - オーラルフレイルに関する知識の普及啓発
-
- 80歳で20本以上の自分の歯を有する人の割合
現状: 44.3% → 目標: 50%以上 (75～84歳)



乳幼児期

- 年齢に応じた口腔清掃方法や仕上げみがき、食育等の普及啓発
 - フッ化物塗布等の効果的なむし歯予防の推進
-
- 3歳児で4本以上のむし歯を有する人の割合
現状: 4.9% → 目標: 0%



青壮年期

- 定期的な歯科検診や食後の歯みがき、歯科治療の推奨
 - むし歯や歯周病予防に有効な歯間部清掃器具の普及
-
- 40歳以上における歯周炎を有する人の割合
現状: 60.5% → 目標: 50%以下



その他



- 妊産婦やその家族等
- 歯周病と早産・低体重児出産の関係、乳幼児の口腔の成長発育等の知識の普及啓発
 - 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な人
 - 口腔ケアの推進、専門的口腔ケアの実施及び訪問歯科診療などの受診機会の確保
-
- 妊婦歯科健康診査の受診率
現状: 52.4% → 目標: 60%以上

基本方針

2 歯と口腔の健康づくり推進のための基盤整備・連携推進

- 歯科口腔保健を担う人材の確保及び育成
- 歯科口腔保健に関する調査の実施・活用及び正しい知識の普及
- 歯科口腔保健を担う人の連携及び協力
- 災害時の歯科口腔保健対策

